

財務会計 I (国際経済科) シラバス

校長	教頭	教頭

科目	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科
財務会計 I	2	3	全	選択	国際経済科

1. 科目のねらい

○『財務会計 I』を学習する目的

- (1) 株式会社における取引の記録・計算・整理に関する知識と技術を身につけ、理解を深める。
- (2) 株式会社の日常的な取引を合理的・能率的に記帳する方法と会計理論の基本的なしくみについて学習する。
- (3) 貸借対照表や損益計算書などの財務諸表を分析し、活用する能力と態度を身につける。

2. 使用教科書・教材

・教科書:『財務会計 I』(東京法令出版)

3. 授業の展開と形態

- (1) 選択授業単位で授業を行う

4. 学習方法

- (1) 授業の始めに会計学習についての概要を説明し、学科の目標を十分に理解させ、学習に対する意識付けを行う。
- (2) 学習内容の定着を図るためなるべく多くの演習時間を設けるが、授業の中では十分に確保できないため、定期的な課題プリント等による家庭学習の慣習化を図る。
- (3) 課題プリントや定期テスト等はファイリングし、家庭学習に活用できるようにする。
- (4) 小テストや単元テストを行い、学習の定着度を確認しながら授業を進めていく。
- (5) 検定前の課題講座や補習授業等を行い、目標級の取得を目指す。

5. 成績評価

- (1) 中間・期末考査…学期ごとに中間考査と期末考査を実施する。
- (2) 検定試験…学習の成果を測定するために全商簿記実務検定1級会計を受験する。
- (3) 提出物…授業の進捗に応じて適宜、プリントなどを配付し提出させる。
- (4) 授業態度…授業への主体的な参加の意欲や質問の回数、さらにその内容を評価する。
- (5) 小テスト…中間・期末考査とは別に適宜、小テストを実施する。

※この①から⑤の点数を、以下の割合で加算して評価する。

- (1) 中間・期末考査…70%
- (2) 検定試験…10%
- (3) 提出物…10%
- (4) 授業態度…10%

6. その他(履修上の注意)

- (1) 教科書、ファイル、筆記用具(ノート、鉛筆、赤ペン、定規、マーカーなど)、計算用具(電卓)の準備をきちんとすること。
- (2) 欠席した場合は、その時間の学習内容とプリントや課題の有無を、次時まで各自で確認すること。

7. 観点別評価の趣旨

授業態度などの評価については、以下の観点別評価をおこなう。

	評価の観点・内容	評価の方法
① 関心・意欲・態度	企業会計の意味・役割や制度、財務諸表の作成、財務諸表からの情報を活用することなどの会計に興味を持ち、会計の学習に積極的に取り組もうとしているか。	・観察 ・提出物(ノート等)・授業態度
② 思考・判断・表現	企業会計に関する諸問題の解決を目指して、自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して、適切に判断し、工夫する能力を身に付けているか。	・観察 ・練習問題 ・小テスト等 ・定期テスト
③ 技能	会計の基礎・基本的な考え方や技術を身に付け、ビジネスの諸活動を計数的に把握し、適切に処理するとともにその成果を的確に表現しているか。	・観察 ・練習問題 ・小テスト等 ・定期テスト
④ 知識・理解	会計の基礎的・基本的な考え方や技術、財務諸表の作成、その財務諸表の活用を理解しているか。	・観察 ・演習問題 ・小テスト等 ・定期テスト ・検定試験

8. 財務会計 I 指導計画

月	学習内容	時間	学習のねらい	実習・演習・教材など	評価方法等
4	第 I 編 財務会計の基礎 第 1 章 企業会計の意義と役割 第 2 章 会計法規と会計基準	6	1. 企業会計の意義と役割について理解する。 2. 財務会計の役割・財務会計の利害調整機能と情報提供機能・企業の経営成績や財政状態に関する情報の開示(ディスクロージャー)の重要性について理解する。	・オリエンテーション ・プリント ・練習問題	・提出物 ・練習問題
5	第 3 章 株式会社の設立・開業と株式の発行 第 4 章 当期純損益の計上と剰余金の配当・処分 第 5 章 社債	6	3. 会計法規の種類と目的・会計基準の必要性と動向について理解する。 4. 株式会社における当期純損益の計上と剰余金の配当および処分の会計処理について理解する。 5. 社債の発行と発行後の会計処理について理解する。	・プリント ・練習問題	・観察 ・小テスト
6	第 6 章 株式会社の税務 第 II 編 貸借対照表 第 1 章 貸借対照表の概要 第 2 章 資産の意味・分類と評価	8	6. 株式会社の税務について理解する。 7. 貸借対照表の概要について理解する。	・プリント ・模擬試験	・提出物 ・月例テスト
7	第 3 章 流動資産 第 4 章 固定資産	10	8. 流動資産、当座資産、棚卸資産の意味と種類を明らかにする。 9. 固定資産の 3 つの区分を確認し、有形固定資産・無形固定資産・投資その他の資産の意味と種類を明らかにする。	・問題集	・観察 ・提出物 ・小テスト
9	第 5 章 繰延資産 第 6 章 負債の意味・分類 第 7 章 純資産の意味・分類	8	10. 繰延資産の意味と種類を明らかにし、原則は費用処理であることを理解する。 11. 流動負債と固定負債の意味と種類を理解する。 12. 純資産の意味と分類を理解する。	・問題集 ・プリント	・観察 ・月例テスト
10	第 8 章 貸借対照表の作成 第 III 編 損益計算書 第 1 章 損益計算の意味と損益の区分 第 2 章 収益・費用の認識と測定	6	13. 損益計算の意味を理解し、経常損益計算と特別損益計算の概念および各種利益の意味について理解する。 14. 収益および費用の認識と測定に関する基準およびその考え方について理解する。	・問題集	・中間考査 ・提出物
11	第 3 章 損益計算書の作成 第 4 章 その他の財務諸表	8	15. 報告式の損益計算書の作成方法を習得する。 16. 財務諸表分析の意義と種類について理解する。	・問題集	・観察 ・小テスト
12	第 VI 編 財務諸表活用の基礎 第 1 章 財務諸表の意義	6	17. 財務比率などの財務指標の意味と計算方法を習得する。 18. 収益性や安全性の面から、企業の実態を分析する方法を習得する。	・問題集 ・プリント	・小テスト ・提出物
1	第 2 章 財務諸表の見方 第 V 編 連結財務諸表	8	19. 連結財務諸表の目的、連結の実態を分析する方法を習得する。	・問題集 ・プリント	・提出物 ・単元テスト
2	発展的な内容 第 1 章 連結財務諸表	4	20. 連結財務諸表を作成する基礎的な方法を習得する。	・模擬試験問題集	・提出物 ・小テスト
3		0			